

平成 29 年度事業報告

I はじめに

わが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、個人消費や民間企業の設備投資など国内需要に持ち直しがみられており、ゆるやかな回復基調が続いています。

一方、少子高齢化が急速に進み、労働力不足が進行する中で、高齢者が年齢にかかわらず人手不足分野や現役世代を支える分野で活躍することは、自らの生きがいの充実に加え、社会貢献、経済発展のためにますます重要となっており、シルバー人材センター事業に大きな期待が寄せられています。

運営状況について、会員数では定年延長、継続雇用制度の定着の影響を受け、平成 26 年度より減少が続いています。また、新入会者の平均年齢も高くなっており、発注者の要望に応える仕事ができる会員の確保が急務となっています。

シルバー事業での契約金額は、請負・委任で 375,525 千円(前年度比 4.1%減)、派遣事業で 29,979 千円(同 10.5%増)となり、併せて 408,648 千円(同 3.0%減)となりました。一般作業群で 11,142 千円減となったのが主な要因です。このことは、就業延人員 81,313 人日(同 7.7%減)、就業率 75.2%(同 1.0 ポイント減)にも響いた形となりました。

事故発生件数は、17 件(傷害 4 件、賠償 13 件)で前年度より 5 件の増加となってしまいましたが、傷害事故は 3 件減少しました。

ボランティア活動では、これまでの岸辺・堤防清掃に加え、今年度から中心市街地清掃(黄門まつり前、梅まつり前)に、観光客のおもてなしの一助となるよう参加しました。

今後も厳しい状況であると予想されますが、地域社会に頼りにされるシルバー人材センターを目指し、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、理事会をはじめ、各種委員会、事務局の活性化を図り、会員と一体となって事業の推進に取り組んでまいります。

以下、平成 29 年度の事業状況について報告いたします。

II シルバー人材センター事業

1 事業目標と実績

平成 29 年度の事業目標は、会員数 1,100 名、契約金額 503,600 千円、就業延人員 91,000 名、就業率 80.0%、事故件数 0 件と設定いたしました。実績といたしましては、会員数は 977 名で目標値には届かず、前年度よりも 14 名減となりました。その他、契約金額 477,418 千円、就業延人員 81,313 名、就業率 75.2%、事故件数は、傷害、賠償事故合わせて 17 件となり、いずれも目標数値を下回る結果となりました。

2 具体的事業

(1) 就業開拓・提供事業

- ① 水戸市主催のボランティア活動に参加し、地域への貢献とセンター事業の PR を行いました。
- ② センターのホームページの充実を図り、センター紹介、会員の入会案内、利用方法等について、市民や利用者に分りやすく最新の情報が提供できるよう努めました。

- ③ 一般労働者派遣事業（茨城県シルバー人材センター連合会からの委託事務として実施）に取り組み、適正就業等の推進を図るとともに、幅広い就業の開拓と就業提供に努めました。
- ④ 就業機会を会員に広く提供するため、就業情報を掲載した「かわら版」を概ね月1回発行しました。
- ⑤ 就業期限の設定に関する基準によるワークシェアリングを実施し、公平な就業機会の提供に努めました。
- ⑥ 福祉・家事援助、訪問介護サービスでは、会員の長年培った経験知識等の長所を生かした、高齢者ならではの細やかなサービス提供をPRして受注の拡大を図り、女性会員の就業確保に努めました。
- ⑦ 水戸市大町、本町子育て支援・多世代交流センターの運営においては、これまでの実績に奢ることなくシルバー人材センターの特色を生かし、利用者に喜んでもらえる更なる企画の充実を図るとともに運営経費の節約等にも努めました。また、会員への就業機会の確保に努めました。
- ⑧ 高齢者世帯生活サポート事業、地域ニーズに対応する事業として始まった「おたすけ隊」及び「くらし応援隊」は、ボランティア意識の高い会員の協力により自主事業として継続しました。

一般労働者派遣事業

契約件数	就業実人員	就業延人員	契約金額
45件	89人	6,791人日	29,978,643円
(対前年度比) 125%	104.7%	103.2%	110.5%

水戸市大町、本町子育て支援・多世代交流センター業務

業務内容	就業実人員	就業延人員	契約金額
事務補助及び鍵の開閉等	9人	931人日	4,626,789円
駐車場管理等	5人	601人日	2,322,284円
施設内清掃等	4人	144人日	489,600円
保育補助等	13人	507人日	1,601,200円
その他	14人	40人日	175,129円
合計	45人	2,223人日	9,215,002円
対前年度比	121.6%	88.4%	87.4%

高齢者世帯生活サポート事業「おたすけ隊」

コース	受注件数	就業実人員	就業延人員	契約金額
100円	989件	28人	989人日	98,900円
500円	60件		60人日	30,000円
合計	1,049件	28人	989人日	128,900円
対前年度比	78.9%	68.2%	78.9%	67.4%

地域ニーズ対応事業「くらし応援隊」

契約件数	就業実人員	就業延人員	契約金額
49 件	30 人	138 人日	369,366 円
(対前年度比) 87.5%	130.4%	86.3%	100.8%

(2) 調査事業

- ① 毎月の就業実績を理事会等に報告し、事業運営の資料としました。
- ② 適正就業の実施により長期間就業者の状況を把握し、全会員への情報提供を行いました。
- ③ 役職員が、シルバー事業の発展、向上のため先進センターを視察し、事業実施における課題や取組み等について研修を行いました。

(3) 相談事業

- ① 高齢者の就業等に関する相談を事務局窓口で随時行いました。
- ② 入会を希望する市民に対して、センターの説明会を毎月第2金曜日に開催し、就業に関する相談等を行いました。
- ③ 入会説明会を受けた入会希望者を対象に毎月第3金曜日に担当理事が個別に面接を行いました。
加入会員の承認については、面接記録を添付して理事会に提案しました。
- ④ 就業希望者の多い継続的施設管理については、かわら版を通じて、公平な就業情報の提供に努めました。また、応募者多数の場合は、安全・就業適正委員会により選考面接会を開くなど、適正にワークシェアリングを実施しました。

入会説明会、入会手続き及び概説講習・理事面談

入会説明会 (毎月第2金曜日)		入会の手続き及び概説講習・理事面談 (毎月第3金曜日)	
参加人数	194 人	参加人数	109 人

(4) 研修・講習事業

- ① 高齢者活躍人材育成事業
茨城県シルバー人材センター連合会との共催で、登録している会員、登録を希望している会員を対象に人手不足分野や現役世代を支える分野での就業に必要な能力を身に付ける講習を実施しました。
- ② 会員研修
就業に必要な知識や技能の向上を図るための高齢者活躍人材育成事業で行う講習会の参加を案内しました。また、就業時における接遇(マナー)の大切さについて意識の高揚を図りました。
- ③ 訪問介護員定例会・訪問介護員講習会
介護保険事業に従事している会員には隔月で定例会を開催し、倫理と法令遵守の徹底を図るとともに、各種講義、事例検討会を行い技能・知識の向上に努めました。
また、今年度から介護予防訪問介護事業は、第一号訪問事業に移行しました。

④ 地区懇談会

地区役員が中心となり地区ごとに懇談会を開催し、情報の共有と会員同士の親睦を図る機会としました。

高齢者活躍人材育成事業

講習名	講習期間	日数	受講者数	会 場
パソコン実務者	29. 8. 21～8. 23	3	11	県職業人材育成センター
介護・生活支援スタッフ	29. 8. 28～8. 31	4	12	県総合福祉会館
調理補助スタッフ	29. 8. 30～9. 1	3	11	市福祉ボランティア会館
介護職員初任者	29. 10. 24～11. 30	25	15	ニチイ水戸教室
福祉有償運送講習	30. 1. 10	2	13	県職業人材育成センター
刈払機取扱者	30. 1. 24	1	32	県職業人材育成センター

会員研修

講習名	講習期間	日数	参加人数	会 場
福祉家事・育児概説	29. 5. 26、7. 27 10. 17、11. 21、1. 15	5	20	内原庁舎
接 遇	30. 1. 22、2. 1	2	68	県職業人材育成センター

訪問介護員定例会

開催日	内 容	開催場所	参加人数	講 師 等
29. 5. 16・17	倫理規定と法令遵守	市福祉ボラン ティア会館他	26	県社会福祉協議会
29. 7. 11・12	感染症予防について	市福祉ボラン ティア会館他	25	県水戸保健所
29. 9. 7・8	高齢者の介護について	市国際交流セ ンター他	25	県立中央病院
29. 11. 16・17	認知症の“人の気持ち” ～思いを理解してかかわる～	市福祉ボラン ティア会館他	25	介護老人保健施設 ゆうゆう
30. 1. 17・18	ヒヤリ・ハットについて	市国際交流セ ンター他	24	県ケアマネジャー協会
30. 3. 20・22	処遇と接遇	市国際交流セ ンター他	22	訪問介護ステーション いしざき

訪問介護員講習会（他機関主催）

開催日	内 容	開催場所	参加人数	実施主体
29. 6. 20	県訪問介護員中央研修会 訪問介護と医療の連携について	県総合福祉 会館	1	県訪問介護協議会
29. 7. 19	第1回地域ケア個別会議 多職種に見える事例発表会	特養老人ホーム もみじ館	1	市内原高齢者支援センター
29. 9. 20	第2回地域ケア個別会議 多職種に見える事例発表会	特養老人ホーム もみじ館	1	市内原高齢者支援センター
29. 11. 15	第3回地域ケア個別会議 多職種に見える事例発表会	特養老人ホーム もみじ館	1	市内原高齢者支援センター
29. 12. 22	悪質商法への対処方法・ 消費者への情報提供など	いばらき中央 福祉専門学校	1	市内原高齢者支援センター
30. 2. 19	しない！させない！高齢者の虐待 ～誰もが尊厳を持って暮らせるため～	いばらき中央 福祉専門学校	2	市内原高齢者支援センター

(5) 普及啓発事業

- ① 市の広報を活用し、高年齢者の就職を支援する各種講習会の案内を掲載し、高年齢者の就職、就業意欲の促進を図りました。
- ② 水戸シルバーだより「梅林第66号」（29. 9. 15 発行）を全戸配布し、事業のPRと入会の促進を図りました。
- ③ 地元開催のふれあいまつりに互助会のサークルが自主的に参加し会員手作り手芸品の展示販売を行ったことは市民との交流の場となり、明るく活力あるセンターとしてのPR活動となりました。
- ④ ボランティア清掃活動は、例年の水戸市主催の桜川水系クリーン作戦に加え、今年度より中心市街地クリーン作戦に2回（黄門まつり前、梅まつり前）会員及び役職員が参加し、活動の場を拡げました。
- ⑤ センターのホームページにおいては、大町、本町子育て支援・多世代交流センター及びファミリーサポート事業とリンクを張り、利用者や市民に対して最新の必要な情報が効果的に提供・発信ができるよう努めました。

ボランティア活動

開催日	主催者	会議、研修会等名	内 容	開催場所	参加人数
29. 7. 15	水戸女性 フォーラム	中心市街地クリーン作戦	黄門まつり前の清掃活動	水戸市	17
29. 11. 12	水戸市	桜川水系クリーン作戦	桜川・逆川の清掃活動	水戸市	24
30. 2. 3	水戸女性 フォーラム	中心市街地クリーン作戦	梅まつり前の清掃活動	水戸市	28

(6) 安全・適正就業推進事業

- ① 会員の就業にあたっては安全就業を優先し、各種啓発活動を通して事故件数0件を

目指しましたが、傷害事故 4 件、賠償事故 13 件が発生しました。

会員の就業時や就業現場途上時における万一の事故に備え、引き続き傷害・賠償責任事故を補償するシルバー人材センター団体傷害・総合賠償責任保険に加入しました。

- ② 茨城県シルバー人材センター連合会主催の安全・適正就業推進大会に役職員が参加し、他市センターで実施している安全対策等における取組みについて研修しました。
- ③ 植木剪定、刈払い、除草作業の繁忙期には、委員会による安全パトロールで就業現場を巡回し、安全を優先させた就業を呼び掛けるとともに、安全保護具（ヘルメット、安全帯等）の着用を徹底する指導も行いました。
- ④ 発注者の要望、苦情には迅速・適正に対応し発注者の信頼確保に努めました。

安全・適正就業委員会

会議名	開催日	内 容
第 1 回安全・適正就業委員会	29. 5. 23	1) 平成 28 年度事故発生状況について 2) 選考会基準点の変更について 3) 委員会での事務局業務代行について 4) 特定業務の就業者減について 5) 「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」について 6) その他
第 2 回安全・適正就業委員会 (安全パトロール)	29. 7. 12	1) 安全パトロールの実施 2) 安全パトロールの結果報告について 3) その他
第 3 回安全・適正就業委員会	29. 7. 25	1) 平成 29 年度事故発生状況について 2) 安全・適正就業スローガンについて 3) 安全パトロールについて 4) その他
第 4 回安全・適正就業委員会 (安全パトロール)	29. 10. 11	1) 安全パトロールの実施 2) 安全パトロールの結果報告について 3) その他
第 5 回安全・適正就業委員会	29. 10. 25	1) 平成 29 年度事故発生状況について 2) 安全パトロールについて 3) その他
第 6 回安全・適正就業委員会	30. 3. 15	1) 平成 29 年度事故発生状況について 2) 事故多発について 3) 選考会について 4) その他

会議名	開催場所	開催日
就業会員選考会	内原中央公民館	29. 4. 18、5. 18、6. 15、7. 19、8. 22、9. 14、10. 18、11. 15 12. 13、1. 17、2. 15、3. 15

理事会		報告第 5 号 業務報告について 報告第 6 号 各委員会等の会議報告について
第 1 回臨時 理事会	30. 2. 20	議案第 8 号 職員給与規程の一部改正（案）について 議案第 9 号 事務費規程の一部改正（案）について 議案第 10 号 特定費用準備資金等の新規積立について 報告第 7 号 平成 29 年度決算見込みについて 報告第 8 号 委員会等の会議報告について 報告第 9 号 おたすけ隊及びくらし応援隊の状況について
第 4 回定例 理事会	30. 3. 27	議案第 11 号 平成 30 年度嘱託員報酬等の改正について 議案第 12 号 平成 30 年度事業計画（案）について 議案第 13 号 平成 30 年度収支予算（案）について 報告第 10 号 委員会等の会議報告について その他（1）不適正会員に対する措置について

2 経営会議、部会、専門委員会の開催

(1) 経営会議

センターの事業計画及び推進、経営の基本方針等について審議しました。

会議名	開催日	内 容
第 1 回会議	29. 5. 25	1) 第 1 回定例理事会提出案件について 2) その他
第 2 回会議	29. 9. 25	1) 第 2 回定例理事会提出案件について 2) その他
第 3 回会議	29. 12. 12	1) 第 3 回定例理事会提出案件について 2) その他
第 4 回会議	30. 3. 23	1) 第 4 回定例理事会提出案件について 2) その他

(2) 専門委員会

債権管理回収委員会

未収金の回収に努めるとともに、未収金の未然防止について検討しました。

広報委員会

水戸シルバーだより「梅林 66 号」（29. 9. 15 発行）を作成し市内全戸に配布し就業の開拓と会員の拡大に努めました。また、次の「梅林 67 号」（29. 3. 1 発行）では、会員向け情報中心の紙面構成とし会員へ配布しました。

地域活動委員会

新規事業を検討する一環として進めていた、祭り前の清掃活動(黄門まつり、梅まつり)への参加を決定し実施いたしました。

会員拡大委員会

毎月第 2 金曜日に入会説明会を開催し、当センターの現状や会員としての経験等について説明し会員の加入促進に努めました。また、役員が中心となり新しい入会説

明会用DVDを作成しました。

市の広報を活用し会員募集の記事を掲載しました。

労働衛生委員会

月1回開催し、派遣会員の就業報告書から就業実態の問題点、並びに衛生管理者が派遣先を巡回し、派遣会員から聞き取った内容の報告を行い、就業中の安全及び健康について検討しました。

(3) 地区・地域班会議

地区ごとに理事・班長会議や地区懇談会を開催し、会員からの情報収集と会員間の交流を図りました。

地区担当理事、班長会議

地区	開催日	内 容
東部・南部	29. 12. 20	地区会員懇談会の開催について
西部・北部	29. 12. 21	〃

会員懇談会

地 区	開催日	参加人数	参加率	会 場
東部・南部	30. 1. 26	78 (529)	14. 7%	県総合福祉会館
西部・北部	30. 1. 30	90 (477)	18. 8%	市内原中央公民館
計		168 (1, 018)	16. 7%	※会員数は1月末現在

※東部 (10 市民センター) 竹隈、城東、上大野、吉田、酒門、吉沢、下大野、稲荷第一、稲荷第二、大場
 南部 (6 市民センター) 緑岡、寿、千波、笠原、見和、見川
 西部 (5 市民センター、1 公民館) 上中妻、桜川、双葉台、石川、赤塚、内原
 北部 (9 市民センター) 三の丸、五軒、新荘、常磐、堀原、渡里、飯富、柳河、国田

3 諸会議、研修会等への参加

意識の向上と日常業務の円滑な遂行のため、役員及び職員が全国シルバー人材センター協会を始めとする各団体が開催する諸会議、研修会等に参加しました。

開催日	主催者	会議、研修会等名	内 容	開催場所	参加数
29. 4. 27	県北 ブロック	県北ブロック役員会	事業報告、収支決算報告、 事業計画案、収支予算案	東海村	1
29. 7. 13～ 14	県シ連	新任事務局長研修及 び事務局長会議	シルバー事業の動向について 適正な業務請負について 高齢者人材育成事業について	大洗町	1
29. 8. 21	県シ連	適正就業実務担当者 会議	適正就業に関する最近の動き 「草刈作業 配分金見積基準」 について	水戸市	2
29. 10. 31	県シ連	茨城県シルバー人材セン ター連合会 設立 20 周 年記念大会	高齢社会問題とシルバー人材 センターの役割について	水戸市	6
29. 11. 9～	県北・鹿行ブ	役職員合同研修会	草刈に於ける㎡単価への移行	鉾田市	2

10	ロック		適正就業の取組みについて 一般廃棄物処理業について 道路運送法等について		
29. 11. 22	県シ連	事務局長及び新総合 事業・派遣実務担当 者会議	今後の新総合事業の展望 新総合事業の現状等について 派遣契約・請負契約締結上の留 意点について	水戸市	2
30. 2. 7	関東 ブロック	関東ブロック連絡協 議会 役職員研修会	安全就業と健康管理について 意見交換会	つくば市	3
30. 3. 13	県北 ブロック	役職員研修会	会員拡大の取組みについて 安全就業の取組みについて 新総合事業の取組みについて	東海村	5

4 センター運営の効率化

(1) 財源の確保

国に国庫補助金の維持・拡充を要請するとともに、水戸市に対し、引き続き積極的な支援を要請しました。

(2) 事務局の効率的運営

事務系会員の有効活用及び適正な配置により事務局運営の効率化を図りました。